

## 57 海洋ごみの発生抑制対策に係る支援について

海洋プラスチックごみによる海洋汚染が世界規模で広がるなか、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）においても、ゴール14に「海の豊かさを守ろう」が掲げられるなど、国や地域レベルでの海洋プラスチックごみ対策は喫緊かつ重要な課題となっております。

本市の海岸にも多くの漂着ごみが押し寄せておりますが、富山湾の漂着ごみの約8割が県内由来とされ、その大半が陸域から川を通じて流出したプラスチック製の容器や包装類であることから、プラスチックごみ等の内陸域を含めた広域的な発生抑制対策や回収処理を総合的に実施していく必要があります。

つきましては、海洋環境の保全等を図るため、**海洋ごみの発生抑制対策に係る事業への支援とその充実**について格段の配慮をお願いします。

### 主な事項

- ・海洋ごみの発生抑制に係る普及啓発、調査研究等への支援のための十分な予算の確保
- ・富山市を流れる二大河川（神通川、常願寺川）の支流や用排水路への網場の設置など、河川ごみの回収処理に要する経費への支援の拡充



【網場の設置】  
（広田用水）



【ごみの様子】  
（広田用水）